

## 平成26年度 第1回生駒市環境審議会 会議録

1 開催日時 平成26年6月3日(火) 午前9時30分～午前11時30分

2 開催場所 生駒市役所 4階 大会議室

3 審議事項

(1) 環境基本計画の見直しについて

(2) 路上喫煙禁止条例の制定に向けた検討について

(3) その他

(以下、敬称略)

4 会議出席者

会長 榎村久子

副会長 中西達也

委員 中谷尚敬 下村晴意 大西知己 楠下孝雄 藤堂宏子

中井武平 山田善久 遊津隆義 田中武 小池真紀

事務局 堀 孝弘 環境経済部次長

川島健司 環境モデル都市推進課長

河島貴司 環境モデル都市推進課長補佐

佐伯敏彦 環境モデル都市推進課長補佐

阿部健一 環境モデル都市推進課地球温暖化対策係長

大熊啓文 環境モデル都市推進課環境保全係長

辻中伸弘 環境事業課長

5 傍聴者 なし

午前9時30分 開会

6 審議内容

(1) 開会

(2) 審議事項

以下、発言要旨。

**事務局** 本日の会議の成立について報告。全委員14名のうち12名のご出席により会議は成立。

**会長** 案件1「環境基本計画の見直しについて」について審議を宣告。  
事務局に説明を求める発言あり。

**事務局** 事務局から、事前に配布した資料「環境基本計画の見直し(案)」をもとに主要な内容を中心に説明。

**会長** 委員からの質問、意見を求める発言。  
パブリックコメントの内容としては45ページのガス使用量についてのご意見だったが、なぜガス使用量が22年比16.3%も削減になっているのかとの質問。

- 事務局** 暖房が減っていることが原因と考えているとの発言。
- 委員** 確かにガスは評価を忘れがちである。一般家庭であればガソリンも馬鹿にならない。ただ、今回は別に本編を修正するほどではないとの発言。
- 委員** 市役所の冷暖房はガス推進式であったとの発言。
- 事務局** 市役所ではガス冷暖房機を2機設置しているが、節電のために2機のうち1機を止めているとの発言。
- 委員** グラフにガスのデータを入れるのは難しくないのではとの発言。
- 事務局** 可能なので、二軸グラフで表現するとの発言。
- 会長** ご意見いただいたようにグラフは入れるので、パブリックコメントの回答もそれに併せて修正することにする。事務局から何点か追加があったが、23ページの遊休農地で変更があったのかとの質問。
- 事務局** ECO-net 生駒の推進事業としては5年目で終了するので情報を追加しているとの発言。
- 会長** 6年目からは経済振興課のほうで事業として行うと決まっているとの発言。
- 事務局** 変更点としては、他に49ページの「計画の実現に向けて」の最後のところを変えている。事実経緯や、協働の輪を広げていきたい旨追加しているとの発言。
- 会長** 生駒市が内閣府から環境モデル都市に選定されたので、環境審議会委員に環境モデル都市について示していただいたほうが良い。今までの実績もあり、提案をどうしたのか、全体像を審議会のみなさんもお知りになりたいと思う。どういう形になっていくのか、環境モデル都市推進課という名前になってどう変わるのか、ECO-netはどうかかわっていくのか。選定は奈良県で初めてのことなのでとの発言。
- 事務局** 情報共有が少しおろそかになっていて申し訳ございませんでした。審議会とは別の形でお知らせさせていただくとの発言。
- 会長** 環境審議会と別の形ではなく、環境審議会で説明されたいとの発言。
- 委員** 環境モデル都市提案書概要で先に説明していただければとの発言。
- 委員** 市民向けの説明会か、審議会で説明するのかどちらか分からないとの発言。
- 会長** 環境審議会ですら1つ、市民向けに1つと考えている。それがないと、環境モデル都市として実態的に動いていく効果があるんじゃないか、どう考えているのか教えてほしい。まずは審議会のほうで説明してもらってから、市民の方々にも広げていくとの発言。
- 事務局** 環境モデル都市については、簡単なものだが、広報の4月1日号とホームページに掲載しているとの発言。
- 委員** 広報で1ページ使っているとの発言。
- 委員** 環境審議会で構図だけでも伝えてもらわないと、他のところで聞かれたときに困るとの発言。
- 委員** ここで勉強会みたいなものをしないと、市民に伝えられない。市民との二本立てでするようにはかってもらえればとの発言。
- 会長** 環境審議会ですら示していただき、それから市民の広報をしていけばよいと

の発言。

**事務局  
委員**

今回概要版を配布し、次回説明させていただくとの発言。

環境モデル都市は全国で選ばれているが、他にどんな自治体選ばれているのかとの質問。

**事務局**

近畿圏であれば京都市、神戸市、堺市、尼崎市で、生駒市が5番目である。政令市としては横浜市や北九州市があり、小さい自治体では北海道の下川町やニセコ町が選ばれている。生駒市は住宅都市をひっばっていく存在として選定されたとの発言。

**委員**

北大和グラウンドを売却して住宅地に変える話があるが、家の近くでは車道の幅はそのままだがでこぼこにし、車は入れなくするという制度がある。ある一角は駐車場にしておき、そこから歩いてもらう。そういうのを作ってくださいとの発言。

**会長**

それは都市づくりで作っていると市長が言っていた。生駒市審議会の会長なのに環境モデル都市についてぜんぜん知らない。審議会のみなさんも知らない。環境モデル都市としての全体像を環境審議会にもう少し詳しく、またの機会にきっちりとお知らせしていただきたいとの発言。

**委員  
会長**

49ページに2桁の数字で全角のものがあるとの発言。

本日、環境基本計画の見直しについて皆様から修正意見をいただいとおり、ご承認いただいてよろしいかとの発言。

**委員  
会長**

了承との発言。

案件1について審議を終了。

案件2「路上喫煙禁止条例の制定に向けた検討について」について審議を宣告。

事務局に説明を求める発言あり。

**事務局**

事務局から、事前に配布した資料「路上喫煙禁止条例の制定に向けた検討について」をもとに主要な内容を中心に説明。

**会長**

委員からの質問、意見を求める発言。

**委員**

懇話会の位置づけは、どのようなものかとの質問。

**事務局**

いろいろな人の意見を聞くため、付属機関ではなくて意見を聞く場と考えている。公衆衛生の専門家や市民団体、学校関係や環境関係など、論点を取りまとめながら進めていきたいと考えているとの発言。

**委員**

環境審議会との関係はとの発言。

**事務局**

環境と直結する部分もあるが、火傷や受動喫煙といった福祉・保健に関する部分もある。環境審議会の直轄の部門ではなく、一つの独立した懇話会で、環境審議会に報告するというスタンスでできたらなと考えているとの発言。

**委員**

スケジュール内容の中で、来年の2月に素案とあるが、6月に議会で条例案を上程となっている。その関係を知りたい。懇話会で何をまとめるのか。まちをきれいにする条例では条例案まで環境審議会でもまとめ、議会で提出したが懇話会で条例案まで作成するのかとの質問。

**事務局**

素案とは条例案の素案という意味で、パブリックコメントの前と後をイメージしているとの発言。

- 委員** 喫煙に関する独立した別個の条例をつくるということは、喫煙の関係はまちをきれいにする条例から削除されるのかとの質問。
- 事務局** それについても懇話会で議論していただきたい。やはり新たな条例に集約するほうが良いが、ポイ捨て防止という観点もまちをきれいにする条例にはあり、懇話会でご検討していただきたいとの発言。
- 委員** 奈良市も条例を持っており、近鉄奈良駅ではタバコを取り出した人に声をかけていた。最近は見かけていないが、近鉄奈良駅周辺で歩きタバコは減った。タバコを吸うかたは派出所の脇に立っており、一定の成果があった。奈良市がどんなノウハウを持っているか気になるが、罰則に基づいたような成果があるのか、事前に情報収集をされて懇話会に提出されたらと思うとの発言。
- 委員** 路上喫煙禁止条例は東京の杉並区や足立区が発祥。懇話会の趣旨としては環境や受動喫煙。灰が散らばるという観点ではなく、煙を吸うことが害がある。タバコを吸って2.5mたってもまだ受動喫煙にはならない。生駒周辺は歩きながら吸っている人が多い。マナーの悪さに対し徹底していない。コンビニの灰皿を入りに置くなどもってのほか。やるからにはきちっとしたもので。奈良市はおもてなしということで、ここは禁煙ですと市内、敷地内を禁煙にしている。生駒は遅れている。徹底的にやってほしいとの発言。
- 委員** 以前と違って農業水路にタバコを見ない。百姓の常識は上がっている。虫も出るようになったとの発言。
- 委員** タバコは建物内は禁煙になっているが、外なら吸える。学校の先生が門の外で吸っているのを良く見る。タバコを吸うなという指導をする先生がそんな風ではあまりよくない。教育者であるならそこらへんから気をつけていただきたいとの発言。
- 委員** ゴミ拾いをしていると、隅のほうに大量にばさっとタバコが落とされていることがあるとの発言。
- 委員** 路上で吸うのはもってのほか。あたりまえだが、いいホテルでは外で吸わせることはない。すごくいい設備がある。若い方はタバコを吸わないが、50代は吸う。60代はまた吸わなくなる。3分の1ぐらい、かなりの人が吸っている。路上などもってのほかなので、人の見えないところに設備を作っていただきたいとの発言。
- 委員** ベルテラスでは作っている。施設もそうだが、タバコを吸われる人用のブースを作っているとの発言。
- 委員** 出たところにある。できれば案内していただければとの発言。
- 委員** 喫煙室がどこにあるか分からないとの発言。
- 委員** 喫煙室を用意することも生駒市は考えてほしいとの発言。
- 会長** 路上喫煙についてはいろいろとあるようだが、検討を始められるということで、環境審議会ですべて審議しないということだがとの発言。
- 事務局** 報告させていただいたときにご意見はお聞きしたいとの発言。
- 会長** 審議会との関係をはっきりさせておかないと。懇話会と審議会の関係があって、報告等を聞くだけではない、議論をする場ではない。まちをきれ

いにする条例との関係はとの発言。

**委員**

まちをきれいにする条例とはかなり関係があるので、それを押さえるためにはとの発言。

**会長**

部会でもなんでもないので。審議会の委員から出るわけではないんですねとの質問。

**事務局**

そうですとの発言。

**会長**

スケジュールの中にあるとおりが報告いただくということによろしいかとの発言。

**委員**

ちょっとよろしいか。環境の予算について、人口において生駒市の15%を占める高山町が広域下水道から外れている。高山小学校の下まで800の管が道路下に来ているので、あれから管を入れていきたい。環境モデル都市になったのだから検討してほしい。県の下水道は150万で、今は100万ちょっとなのでまだ余裕がある。あと、富雄川に土地改良区の水が余っているので月2回ぐらい放流してほしい。合併浄化槽の水があちこち溜まってにおいが出るが、水を流せばきれいになる。夕立でもきれいになる。6, 7, 8, 9月放流してください。10分ぐらいとの発言。

**委員**

学校でのエコボーナス、環境モデル都市に関係しているが、大々的に、生駒市内の全校に進めていくということかとの質問。

**事務局**

既に全校が対象になっている。今年度から他の指標も用いており、ガスであるとか、水道であるとか、環境教育を実施すればポイントを付ける等の改良を行っており、エコボーナス改良版として進めているとの発言。

**委員**

他の市も興味があるので、情報をいただきたいとの発言。

**事務局**

モデルとなった山口の宇部市はこれ以上減らせないとやめてしまったが、生駒市は前述のように内容を改良して継続する。あと、環境自治体会議といって、環境に興味のある市町村が集まって年に1回持ち回りで全国会議を行っている。今年は北海道のニセコで行われ、環境審議会からは楠下さんにも参加していただいているが、来年の5月に生駒で開催する。その準備のために4月21日に実行委員会を発足させていただいて、いこま会議をどんなふう盛り上げていくのか、どういう分科会を設定するのか考えていく。審議会にも逐次状況を伝えていくとの発言。

**会長**

せっかく環境モデル都市に通ったので、がんばっていただきたいとの発言。

**委員**

環境モデル都市提案書概要のコピーをいただいたが、ICTという言葉やファイナンススキームという言葉が分からないとの発言。

**会長**

ざっと簡単でいので説明してくださいとの発言。

**事務局**

事務局から、会議中に配布した資料「(生駒市)環境モデル都市提案書概要」をもとに主要な内容を中心に説明。

**委員**

最初の質問に答えていないとの発言。

**事務局**

ファイナンススキームというのは、金融機関と組んで低利の融資をしてもらうなど、融資の仕組みを作っていくこととの発言。

**委員**

みんなに見せるのであれば、ファイナンススキームは資金計画にすればよい。なぜわざわざ難しい言葉にしたのか。市民は分からない。ICTも

ITなら分かるとの発言。

**事務局  
委員**

広報の媒体では、分かりやすい言葉にしますとの発言。

環境モデル都市は環境基本計画の先になるもので、大いに賛成である。生駒市だけではできない。県や周辺の自治体からも盛り上げていく。かなり時間があるとの発言。

**委員**

高山は江戸時代から千軒だったが、あと10年で百軒減る。空き家が増える。そのような環境を考えていただいて。学研北生駒駅ができてても便利が悪いとの発言。

**委員**

さきほど中井委員からあったが、川に関して、合併浄化槽からにおいがする。それは単独浄化槽が残っているからか、それとも合併浄化槽のメンテナンスが足りなかったのか。本来合併浄化槽から出てきた水はきれいなものであるはず。下水が通っていないで合併浄化槽にしているのであれば、メンテナンスもきちんとして排水しているかどうかフォローしていただくような形にしないと環境を保つということにはならない。公共下水道は費用がかかり、接続費もあるが税金を使っている。合併浄化槽は補助金もあるが個々の負担の割合が高い。イーブン、同じであればいいが、合併浄化槽のメンテナンスも明確にしていただけないと。浄化槽を使っている人の負担が公共下水道より多いのであれば。そこらへんのも含めて市も補助をするべきとの発言。

**委員**

米のとぎ汁が臭かったが、広域下水道につなげてもらってからきれいになったとの発言。

**委員**

環境モデル都市について教えていただいて良かった。合併浄化槽の空気のポンプが壊れ、1個2万円した。3年交換であり、すごい出費になる。浄化槽はお金がかかるとの発言。

**委員**

広報の話、生駒市のホームページにこういう資料を載せているということだが、わかりにくい。平易な言葉で、なにもかもではないが、この審議会でする資料と市民向けの資料では当然違ってくるとの発言。

**会長**

議案が少なかったので自由にご意見いただいた。環境モデル都市を作ったのだから頑張ってくださいとの発言。

**会長**

審議会の審議を終了する発言。

審議会の閉会を宣告。

午前11時30分 閉会